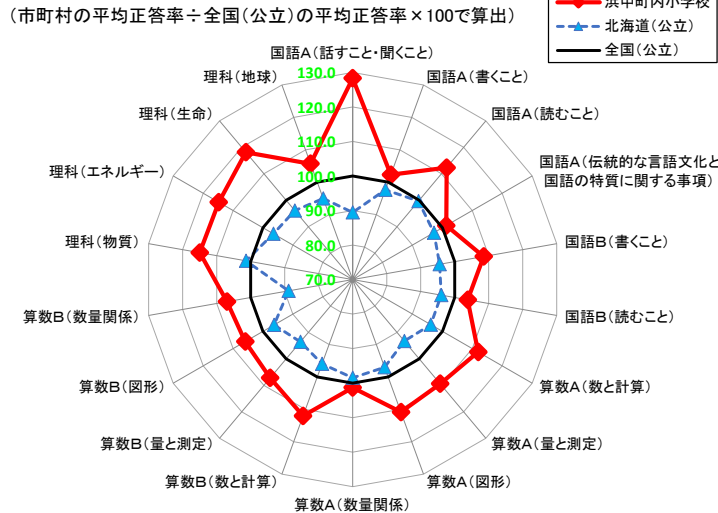


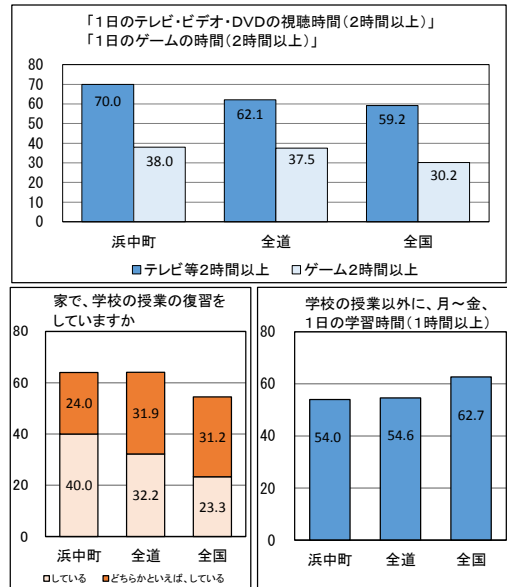
■ 浜中町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5、児童数:50名)

【教科全体の状況】

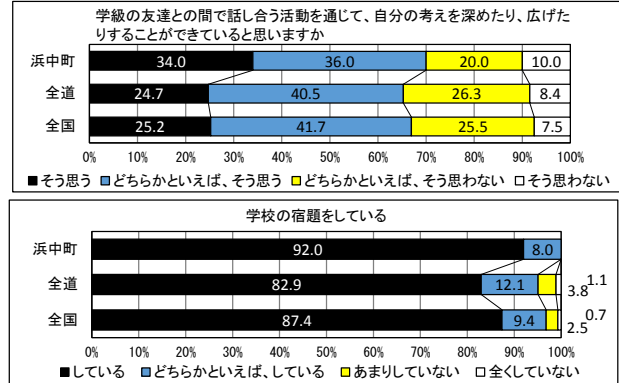
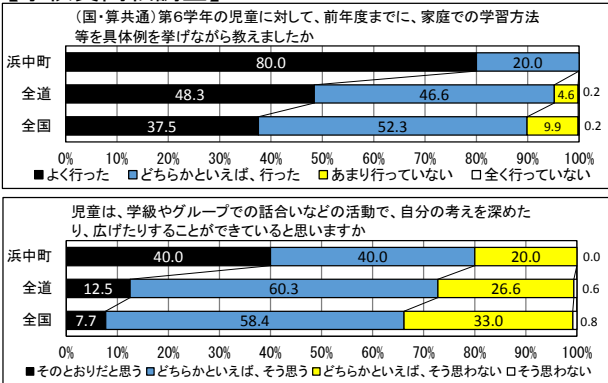
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|---|--|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教科・領域で全国の平均正答率を上回っている。 ○ 特に、国語Aでは「話すこと・聞くこと」、算数Aでは「数と計算」、理科では「エネルギー」「生命」で全国平均を大きく上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で考えを発表したり、話し合う活動を位置付けたことにより、児童は自分の考えを深めたり、広げたりすることができ、既習事項の定着が図られたと考えられる。 |
| 児童質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 1日当たりのテレビやビデオ・DVDの視聴時間やゲームをする時間が長い傾向にある。 ○ 「家で学校の宿題をしている」「家で学校の授業の復習をしている」児童の割合が全国を上回っているが、「1時間以上勉強する」児童の割合が全国及び全道を下回っている。 ○ 「話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習について全教職員で共通理解を図り、学習方法を指導したことにより、授業の復習や宿題をする児童が増加したと考えられる。 ○ テレビやビデオ・DVDの視聴時間やゲームをする時間が長く、家庭学習の時間に課題が見られることから、家庭と連携して生活習慣の一層の改善と家庭学習の質的・量的な見直しを図っていく必要がある。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「児童が話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 | |

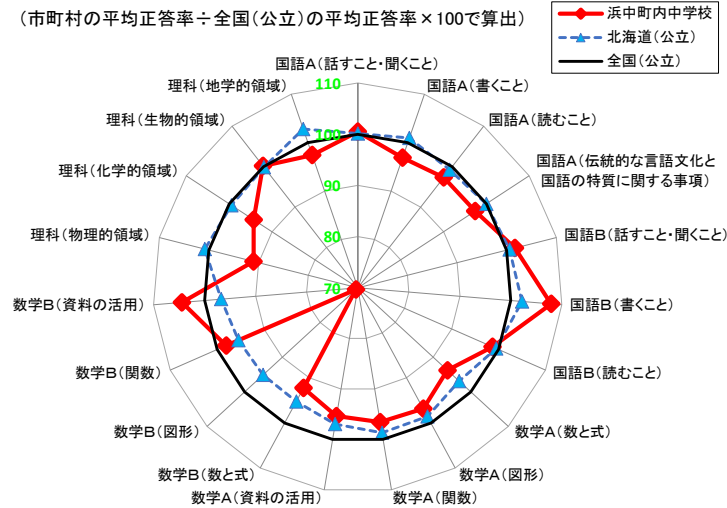
【浜中町の学力向上策】

- ◎ 授業改善(繰り返し指導や言語活動の充実)の継続
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携の強化
- ◎ 望ましい生活習慣・学習習慣の確立に向けた家庭への啓発活動の推進

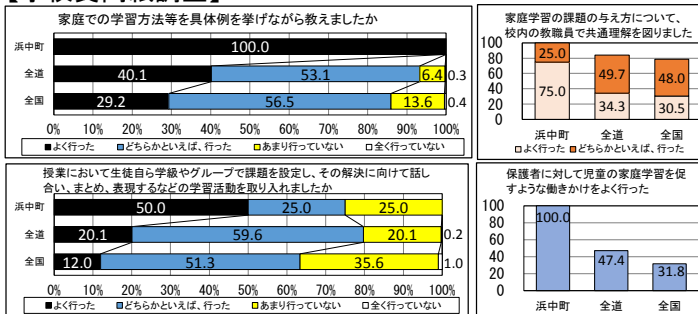
■ 浜中町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4、生徒数:69名)

【教科全体の状況】

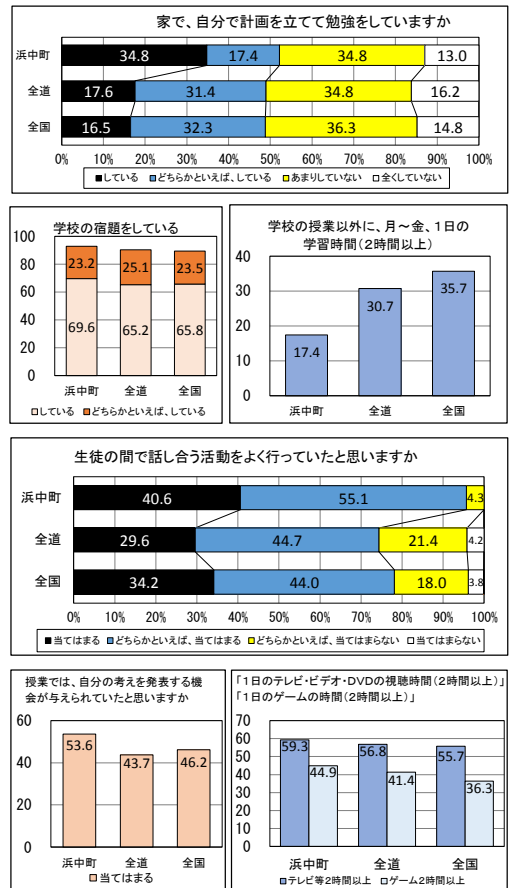
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|--|---|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」が全国及び全道を上回っている。 ○ 国語Bでは「話すこと・聞くこと」「書くこと」が全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Aでは全国の平均正答率を下回っている。 ○ 数学Bでは「資料の活用」が全国及び全道を上回っているが、「図形」は全国との差が大きい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題に対して考えたことを話し合ったり、表現したりする活動を取り入れたことにより、B問題に対応する力が身に付いてきていると考えられる。今後は各教科等の指導において、言語活動の質を一層高めていく必要がある。 |
| 生徒質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 1日当たりのテレビやビデオ・DVDの視聴時間やゲームをする時間が長い傾向にある。 ○ 「学校の宿題をしている」「自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合が全国を上回っているが、「2時間以上勉強する」生徒の割合が全国及び全道を下回っている。 ○ 授業で「考えを発表する機会が与えられていた」「話し合う活動をよく行っていた」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習について全教職員で共通理解を図るとともに、学習方法を指導したり、保護者への働きかけをしたことにより、生徒は家で計画を立てて学習したり、宿題をしたりするようになってきたと考えられる。 ○ テレビやビデオ・DVDの視聴時間やゲームをする時間が長く、家庭学習の時間に課題が見られることから、家庭と連携して生活習慣の一層の改善と家庭学習の質的・量的な見直しを図っていく必要がある。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習において、「課題の与え方の共通理解」や「具体的な指導」、「保護者への働きかけ」を全教員で行っている学校の割合が全国及び全道を上回っている。 ○ 「課題解決に向けて、話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れている」学校の割合が全国を上回っている。 | |

【浜中町の学力向上策】

- ◎ 授業改善(繰り返し指導や言語活動の充実)の継続
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携の強化
- ◎ 望ましい生活習慣・学習習慣の確立に向けた家庭への啓発活動の推進